

2022 年度 第 5 回定例理事会議事録

日 時:2022 年 7 月 22 日 13:30-15:30

場 所: ピアマリン 1 階 日本人会ミーティングルーム

会議出席者:(理事) 青木、権田、堀、藤田、柴垣、羽賀、スミス、堀、野口、井上、パサワー、八巻、

渡辺た、須永、メイヤー、金澤

※リモート参加 武石、佐藤、

(監事) 栗田、渡辺な

欠席: 井上、山口

傍聴: 事務局 2 名

冒頭、藤田理事が日本帰任の為理事を辞任した事に伴い、法人会員として浅沼組の後任である柴垣あたる氏が理事に就任したことが紹介された。

議 題:

1. 活動報告

1-1.教育部(権田部長)

○チャリティーゴルフの報告

参加者 93 名が集い、大いに盛り上がった。

目標人数 100 人には届かなかったものの、寄付金目標 1 万ドルは達成した。

(総額寄付予定額 \$11,350)

○学校理事会報告

次の 3 つのポイントに関し審議した。

- ・日本人学校の財政基盤の強化
- ・学校校舎の中での在り方
- ・現地採用職員の待遇改善

<質疑応答・意見>

- 補習授業校に関し、現地採用の教師(3、4名)が新しい働き口を探したことにより、新規教師の募集を出している。
- 日本人学校の今季財政予算は7万ドルの赤字を予算化しているが、授業料未払分の引当金計上などを加えて7万 2 千ドルの赤字からスタートしていかなければならない。
- 全日制と補習授業校の認識の視点の違いが表面化している。両者のベクトルの方向性を合わせて共生できる様進めていきたい。

○日本人学校監査報告(栗田、渡辺な)

- ・6月23日に日本人学校監査を八巻理事、栗田監事、渡辺監事で実施。会計処理に関してはおおむね適正と認められた。

- ・2022 年度末、PPP のローン債務免除等もあり、\$115,683.18 の黒字を計上

◇検出事項

- ・元生徒に対する授業料未収金\$1,761.75 が滞留していたが、次年度において引当金計上処理が為されていた為、当期修正計上の処理は見送ることに同意。
- ・固定資産台帳に償却済みの器具備品が計上されていた為、定期的な棚卸の実施による実数確認とないものについては除却処理の依頼を行った。
- ・安定的な財政基盤の確立の為、中長期経営計画についての継続的、定期的な評価、見直しを行っていくよう提言した。

1-2.青年部(武石部長)

- ・6 月 27 日、浅沼組会議室にて設営関連会議
- ・7 月 6 日、尾形首席領事より連絡あり、グラスルーツ資金の活用申請について確認。
- ・7 月 13 日、第二回祭り実行委員会開催
舞台と櫓の必要性を問う声があった。本来 28 千ドルを予定していたが、40 千ドル掛かるとすると見直しが必要になってくる。レイアウトについても再考が必要。
食品ブースの申請を現在受け付けているが、この申請状況を見ながら規模感を出していきたい。
締め切りは 7 月末。8 月中旬には出店数を決定。
DPHSS も含む食品ブース説明会を 8 月 17 日に実施予定。

<質疑応答・意見>

- リバレーションデーのパレードを拝見し、観客の多さに驚いた。コロナ禍による 2 年ぶりの開催であったこともあるとすると、秋祭りも恐らく相当な数の観客が訪れる可能性があり、受け入れに柔軟性を持たせておかないと問題になる可能性がある。
- チケットを前売り制に限定するとか時間制限で対応できるか、が課題。
- 食品の数は出店数によって上限が決まってくるので、物品販売等によりバッファを取って行ければと考えている。

1-3.文化部(羽賀部長)

・慰霊公園清掃活動について

7 月 10 日、108 名の参加があった。また最後のアガットの慰霊碑迄の参加も 66 名と多くな参加があった。
集合・解散時間を例年より早く設定した。
理事・監事の皆さんの協力に感謝申し上げます。

・アート&クラフトの開催について

7 月 19 日(火)に出展希望者と打ち合わせを行った。
参加希望・・・5団体、但し秋の開催には出店は難しい。

他の団体の状況・・・高齢で出店は難しい、またグアムにいないことが考えられる
以上の事から、10月11月の開催は厳しい、と考えており、年明けになる公算が大きい。
領事館とも協議したうえで、1月若しくは2月の開催を検討。
また、従前の20団体での開催というのも難しいので、形を変えた開催を検討せざるを得ない。
参加希望5団体にも通達する予定。

・ハロウィンイベントについて

10月22、23日で実施するか検討しているが次回理事会でご相談申し上げたい。

・承認伺い

- a. リレーフォーライフ:GCWC への差し入れ(\$50 程) ⇒承認された。
- b. アートアンドクラフト:開催日の年明け変更 ⇒承認された。
- c. アートアンドクラフト・秋祭り・50周年記念行事のジョイント協賛募集
 - i. 3行事のジョイント協賛について ⇒承認された。
 - ii. 各企業への依頼担当の決定(別紙) 追加の担当あり ⇒承認された。
 - iii. 協賛金額のコースに5コースに8千ドルを追加 ⇒承認された。
 - iv. 協賛企業の宣伝を新聞にて実施するか否かについて ⇒実施で承認された。
 - v. 協賛依頼文について羽賀部長への一任 ⇒承認された。

・リレーフォーライフについて

7月30日(土)に開催予定、場所、アガニャ、スキナーズ・プラザ
時間、16:00～20:00
参加希望があればお願いしたい。

1-4.商工部(渡辺部長)

商工部セミナーに関するニーズ調査を実施したい。
過去実施したセミナーに関して参加者が理事以外ほとんどなく、会員の為になっているとは思えない。ニーズ調査をした結果を見て反応が薄い場合は実施する必要もないと考える。
企画案:具体的な選択肢を設け、アンケートとして回答しやすい形にしたい。
その他、フリーワードも設けて回答頂く。
理事からもアイデアがあれば受け付けたい。

<質疑応答・意見>

- 年配者の会員も増えてきたので、税務セミナーなどやってほしい。
- 年金の問題なども切実になってきている人も多いので取り上げてほしい。
- ヒヤリングという事は実際に会員に会って意見を求めるということか？ そうではなく、メールでアンケートを取って意見を求めていく。
⇒実施について承認された。

1-5. 渉外広報部(パサワー部長)

・HP について

アップしたので確認してほしい。

USER SAMARY について、サイトを訪れた分析数値が確認できる。

具体的に誰が見ているのかも確認でき、日本語もしくは英語サイトの閲覧なのかも確認できるので、情報分析ツールとしては有益である。来月もまた継続して報告する。

商工部作成した JCEG2022 で作成したインスタグラムと Facebook の引き継ぎをした。

秋祭りや会のイベントで活用していく予定。

<質疑応答・意見>

- WHAT'S UP の様に情報拡散ツールとして活用していけないか。
 - 良い面も悪い面もあるので慎重に検討した方が良いのでは。
 - Piti の WHAT'S UP は MAYER の許可制なのでコントロールされている。同様に HP も許可制であれば管理できるのではないかな。
- 日本人会の紹介ツールとして、インスタグラムや Facebook の活用方法の検討はしているのか？ 継続して維持していくことが大切ではないかな。
 - これから検討していく。またアイデアがあれば頂きたい。
 - Facebook が年配者のツールと思われがちだが、グアムの場合は全世代で利用されている。

1-6. 総務部(堀部長)

・会費徴収について

現在 54 社登録があった。

個人会員については 102 名の登録があった。

名簿については 8 月頃の完成を目指している。

・会員証の発行について

会員証の印刷が完了した。発送の準備を行っている。

・F/S の広告掲載を行った。

<質疑応答・意見>

- 法人会員数の見込みは？
 - 秋祭りの実施に伴い若干法人会員が戻ってくるのではと予測している。
- 過去に会員だった企業に対するアプローチは行っているのか。
 - というのも、秋祭りの食品ブースへの出店は日本人会会員でないとできない事情がある。
 - 個別に行っている。

1-6. 会計部(八巻部長)

・2022 年度予算実績

6 月末時点で実績が\$11,552 のプラスとなっている。

チャリティーゴルフの収支は\$9,782 のプラスとなった。

会費徴収に関し、計画では\$65,000 となっているが、実数は\$28,910 と差異が見られるものの、2021 年の実績が\$62,470 であり、近似値になると予想している。

< 質疑応答 >

➤ 日本人学校への寄付\$13,000 は既に入っているのか？

→まだである。

1-7. 50 周年記念事業(野口部長)

・アンケートの集計結果について説明

法人・個人合わせて 130 人にアンケート調査を依頼、69 人からの回答があった。

50 周年記念事業として、50 周年記念誌(80%)と記念式典(42%)の開催の希望が多かった。

記念誌に関しては写真集との回答が多く(68%)、次いで WEB 版(46%)であった。

記念式典については他の日本人会イベントとのコラボレーションのアイデアが多く出された。

また日本人学校の生徒や子供たちも参加できる式典と言う意見も見られた。

これらの事から、記念事業部としては、50 周年記念誌の発行と 50 周年式典を記念事業として行う事で承認をお願いしたい。

・50 周年記念誌について

「これまでの 50 年、これからの 50 年」をテーマに写真を中心に構成。

年表と写真で振り返るグアム日本人会 50 年、と内容で進めたい。

寄付と広告収入で出費は抑えた中で行いたい。

発行の時期は年度内。

製作には渉外広報部、総務部、その他理事のボランティアに協力を仰ぎ、島内の出版企業、事務局、日本人会会員のボランティアなどを中心に編纂委員会を立ち上げる。

・50 周年記念式典

理事会でどういった形で行うのがいいのか、審議する必要があるが、担当理事(野口部長)から以下の様な提案が為された。

「日本人学校・補習授業校の運営と支援」が日本人会に課された大きな柱の一つであることを考慮し、日本人学校の講堂(体育館)で式典を行ってはどうか。

内容的には、学校の施設や学習カリキュラムの一部を披露することで広く学校での活動を会員に知ってもらう機会を作る。また日本人会 50 年の歩みを写真や記録などの展示も併せて行う。

また、学校の現在置かれている財政面での深刻な問題について学校関係者や理事のみならず広く問題意識を持って頂く機会を作る。

<質疑応答>

➤ 金額規模はどのくらいを考えているのか？

→ 記念誌に関してはデザイン・レイアウト、印刷を含め 1 万ドルくらいを考えている。

記念式典については極力コストを抑える方向で考えているが、現在は未定。もし学校の講堂を使えば場所代は無料で場合によっては食事無しもありか、と考えている。

➤ タイミングはいつか？

→ 記念誌の発行・配布のタイミングで記念式典を行えればと考えている。

補習授業校の 50 周年記念も取り込んでいければと考えている。

もし補習授業校イベントも取り込むなら、1 月の運動会もあるので同時にやるのがいいのでは。

秋祭りの前夜祭として記念式典を行うのはどうか。

➤ 飲食に関して。

50 周年記念式典と言うお祝いの席ではあるが、学校で行うとするとアルコールは難しい。

学校理事会で決議すれば問題ないのでは。

もし飲食を伴わないのであれば、年明けのアートアンドクラフトとジョイントして行ってもいいのではないかな。イメージとして、1 時間ないしは午前中で式典を行い、午後からアートアンドクラフトを行ったらどうか。

➤ 記念誌を写真集で行うという事は、写真集を希望されている方は写真を所有しているかと思われるが、どのようにして収集するのか。

→ 30 周年記念誌の際相当数の写真データは集めてあるので、今回は直近の 20 年についてウェイトを置いてデータ収集を行い、構成もそういう形で進めていきたい。

50 周年記念事業に関しては、50 周年記念誌と 50 周年記念式典を進めるという事で承認された。

2. その他

(青木会長)

- ・リバレーションデーのパレードに招待され、参加してきたが、グアムで一番のイベントは秋祭りだと考えていたが、リバレーションデーのイベントの参加者の多さには驚かされた。併せて各村では慰霊祭を行っている。メリッソの慰霊祭には小林総領事をはじめ、ピースリングの高木会長などと青木会長も同行し献花を行ってきた。その後アガットにおいても権田副会長と青木会長が日本人会から小林総領事、高木会長、飯塚夫妻などの参加も含め参拝・献花を行ってきた。8 月 4 日にもジーゴでの慰霊祭に参加する。献花の費用に関し理事会の承認を得たい。
承認された。

以上